

海と川がまちを デザインする

Sea and river design the town.



浦安市における海・川資源の再生と文化・水の創生
プロジェクト企画書

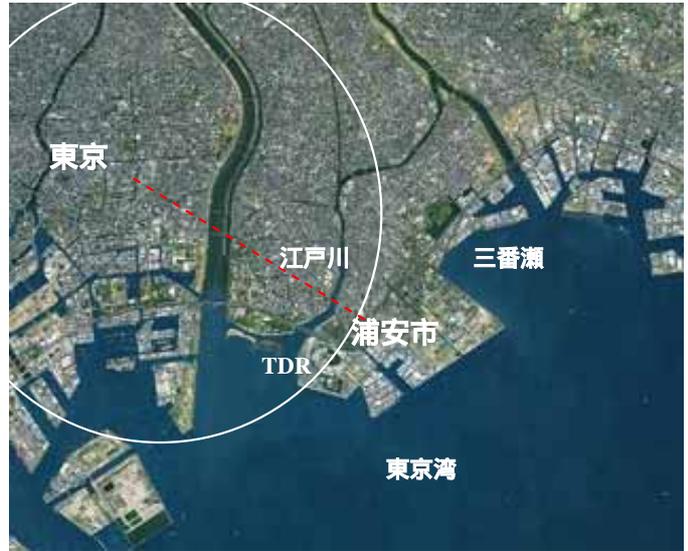
(当文書は全て企画中のものであり、今後の検討で変更される場合があります)

豊かな海と川の財産

に恵まれた浦安

東京ディズニー・リゾートで有名な千葉県浦安市は東京から約15km離れた東京湾の最奥部に位置し、ラムサール条約でも注目される自然干潟の三番瀬を含む東京湾や旧江戸川に三方を囲まれています。

また、市内も「青べか物語」(山本周五郎)に描かれた境川が貫通するなど、自然の水辺の環境に恵まれています。



東京から15Km、三方を海と川に囲まれた浦安市

海・川資源の再生と

文化・水の創生

しかし、現在は海は護岸にさえぎられ、川は途中の水門がほとんど閉鎖中など、市民が水やその文化に触れられる機会がきわめて少ないのです。

これらの水辺自然財産を市民が中心となって長期的な観点でデザインし、浦安ならではの海や川、船といった魅力を創生し、水(海・川)をキーワードとして浦安が持続可能(サステナブル)な都市として発展できる開発や事業に結び付け地域の活性化をはかる第一歩がこのプロジェクトの目的です。



上空からみた浦安市、護岸に囲まれている

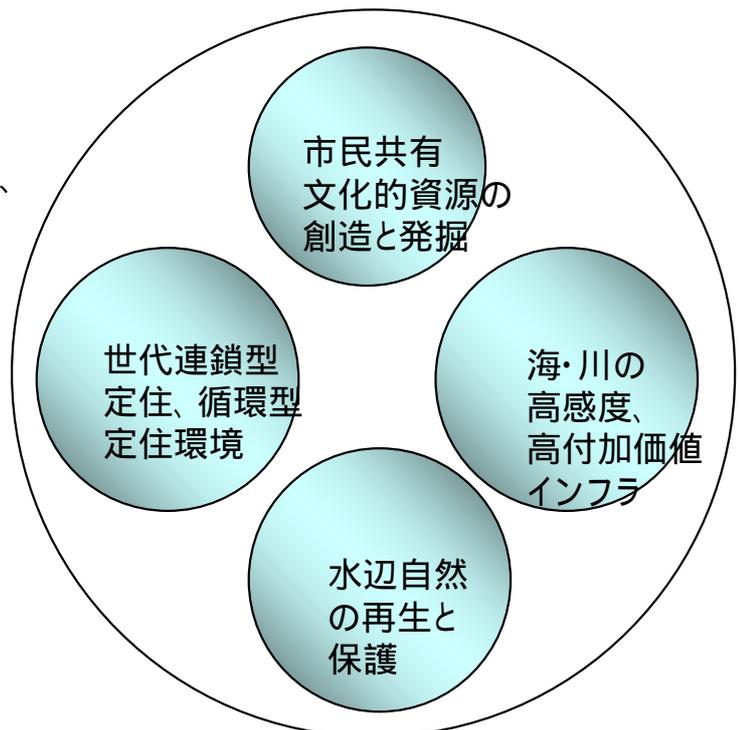
海と川がまちを

デザインする

1・私たちは世代が連鎖した「定住生活環境」を構築することが非常に重要だと考えています。すなわち、親から子、子から孫へと世代が連鎖して故郷浦安に定住できる希望と安心を保障する環境を作ることが、持続する浦安市を創造することに繋がると確信しています。

2・そして、ここ私たちのまち浦安ではこうした「定住生活環境」は、高感度、高付加価値を持った環境創出のための水際線の再構築と利活用、そして魅力ある都市の景観創出と維持増進を図ることから創造されると考えます。

3・そのためには魅力ある海や川の環境と景観に向けたさらなる補強と改善が必要であり、このことにより市民の暮らしの豊かさ向上は言うまでもなく、市民の起業意欲をも誘発し活力ある多角的経済環境が醸成され、持続する市の財政基盤を構築する一助とすることも可能となります。



三十年後の市民のために今考える

恵まれた立地を生かすために

海や川の文化をコアにした持続性ある都市にするという目的にむかって、海・まち・デザインでは、これまでも境川を軸に、

- 1 川筋市民の交流（イベント）
- 2 生活の川、ふるさとの川の再生

といったプロジェクトに、取り組んできました。

浦安の海岸沿い埋立地には広い公園や、まだ多くの未開発地域も残っており、そこにどのような水の文化を創っていくのか、今回のプロジェクトは、中長期的に

- 3 海岸ゾーンの市民利用と市民交流
- 4 海岸自然の浄化や生物の多様性
- 5 海への水運、市外への水運

の実現を目標とします。

これは、今の子供たちが成長した時にも持続性ある都市として存在するために長期的な戦略として計画されるべきものです。

海・まち・デザインでは、いままでの活動のなかで右図にスケッチされたような水辺活用のアイデアを打ち出しています。

上記の目標に向かって、2010年に実行することが、見開きページ（3-6ページ）にある活動実施計画（事業内容）です。

30年後に向けてのロードマップ

2008	2010>	==>	==>	==>	==>	==>	2040
	1 川筋市民の交流（イベント）						
	2 生活の川、ふるさとの川の再生						
	3 海岸ゾーンの市民利用と市民交流						
			4 海岸自然の浄化や生物の多様性				
				5 海への水運、市外への水運			



既に3回実施、境川ー東京湾乗船体験



地元自治会と合同で行なった灯籠流し



海沿い、川沿いのまち「夢のスケッチ」



賑わいと楽しみにあふれる海辺に開かれた空間の創出

2010年春、秋、海辺で何かが始まる

プロジェクト1

海や川への関心や知識を深め、アイデアを出す

プロジェクトは春にはじまります。東京湾に面した浦安市総合公園にテントの図書館。海辺の学校。

海や川や船に関する本をいっぱい集めた臨時ライブラリーから、好きな本をもって芝生の上の背もたれチェアに座ろう。

潮風に吹かれ、読書をしたり海をながめていれば、海辺活用の色々なアイデアもわいてくる。

アイデアが決まれば「夢の海辺計画」コンクールが待っている。

海辺の図書館と

海辺の計画コンテスト

時期 第1回（春）

2010年4月29日－5月5日

第2回（秋）

2010年9月19日－9月26日

場所 浦安市日の出総合公園

参加者 各回期間累計300名（合計600人以上）

内容 テントやトランクなどで「海辺の移動図書館」を設営、期間中イベントを実施
海・川、船に関する書籍をおいて、芝生で読書
芝生上で海・川、船に関するレクチュア
（春）「夢の海辺計画」コンテスト
スケッチや3D
（秋）コンクール結果の発表・表彰と展示

市民参加「夢の海辺計画」コンテスト

- 1 子供の部（スケッチ）
- 2 中高生の部（スケッチ）
- 3 大人の部（スケッチ、3D）



舞台となる浦安市総合公園



（参考）横浜市海の公園でのビーチ図書館

プロジェクト2

渚のボードウォークの実現をめざして

総合公園と海の間には護岸があり、30mのコンクリートのエプロンがあり、そのさきにはテトラブロックがあって人と海を遮断しています。

いつの日か、エプロン上の間伐材のボードウォークを歩いたり、人口砂浜で戯れたり、海につきでたピア（桟橋）から横浜やお台場に船で遊びに行く。

そんな日を夢見ながら、その第一歩に、エプロンのクリーンアップ（大掃除）を、海の日7月20日に実施します。

総合公園前海岸

クリーンアップ

時期 2010年7月20日（海の日）

場所 浦安市日の出総合公園前海岸

参加者 累計 100名

内容 海岸の自然保護や、海への関心を高めるため、総合公園前クリーンアップ（ごみ清掃、草抜き）を実施。千葉県、浦安市の協力を得る。



2009年のクリーンアップよりごみの量はなんと2.5トン！

コラム1：市民はどの水辺で遊びたいのか？

海・まち・デザインが実施した「市民が行きたい浦安の水辺のアンケート」によれば、1位と2位はほぼ同数で、隣接する「海浜公園前海岸」と「総合公園前海岸」が選ばれました。

そして、「足を水につけたい」、「直接水にふれ、浦安に住むことを実感したい」という、眺める海や川でなく、自らふれられる海や川にしてほしい要望がとても多かったのです。

コラム2：全国的に有名な図書館を使わない手はない

浦安市の図書館は全国でも有数の一市民あたりの貸出数で、市民の事業化支援なども行なうなど極めて活発な活動が行なわれており、プロジェクト推進に積極的に活用したい。



遊びたい水辺はどこ



TDRにならんで全国的に有名

プロジェクト3

市民の英知をあつめる

イベント活動を行いながら、海や川を活性化し、いきいきしたまちづくりをするにはどうすればよいのかを学び、調べ話し合うことで、次へのステップを確立していきます。



熱心なディスカッション
(今年のフォーラムより)

「海・川資源の再生と文化

水の創生」 研究会

- (1) 時期 2010年6月 ~ 2011年2月計6回
- (2) 場所 浦安市公民館など
- (3) 参加者 各回 20名
- (4) 海・川資源の再生と文化・水の創生に関する講師を招いての勉強会。先進水際地域の視察も行う。目標実現のための提言書の作成

「海・川資源の再生と文化・

水の創生」 シンポジウム

- (1) 時期 2011年3月15日
- (2) 場所 浦安市文化会館
- (3) 参加者 100名
- (4) 海・川資源の再生と文化・水の創生に関する講演と公開意見交換

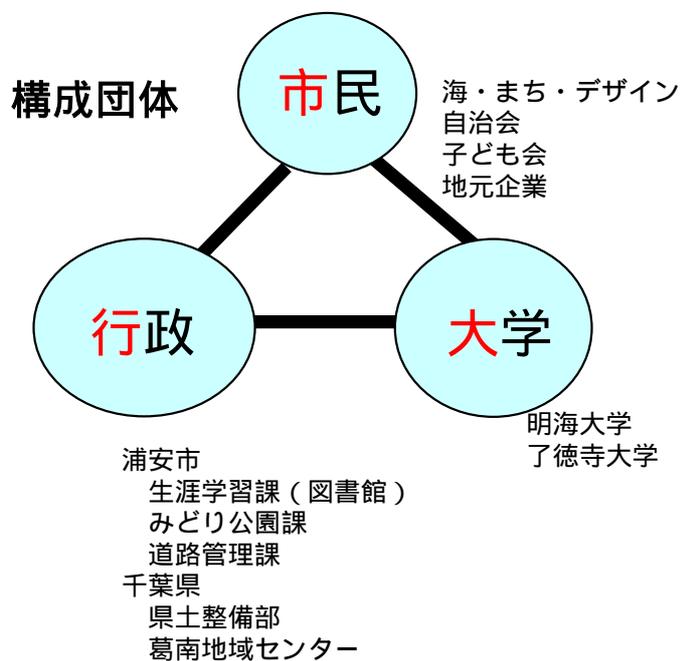
プロジェクト1～3活動スケジュール

2010									2011		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	海辺の図書館 第1回						海辺の図書館 第2回				
			海岸クリーン アップ								
		研究会		研究会			研究会	研究会	研究会	研究会	シンポ ジウム

公民学の連携で進める

このプロジェクトは、一ボランティア団体だけが実施するものではなく、市民が主体となって地元行政と一緒に取り組みながらすすめていきます。

さらに海岸に近くにある二つの大学（明海大学、了徳寺大学）や、趣旨に賛同する「協力団体」、「支援団体」と連携のもと、プロジェクトを進めていきます。またそのなかで、次世代のリーダーの育成をもはかっています。



（計画中のものを含みます）

次年度につながる成果と成果物

様々な活動を通じて得られる成果は、浦安市が海・川をコアとした持続可能（サステイナブル）な都市として発展するため資産として活用ができます。

「浦安市における海・川資源の再生と文化・水の創生」

提言書

予定成果（人）

- ・プロジェクトへの市民・学生の参加（延べ1000人以上）
- ・水辺を生かすまちづくりリーダーの育成（1名以上）

プロジェクト遂行の予定成果物

- 「浦安市における海・川資源の再生と文化・水の創生」提言書（50ページ）
- ・夢の海辺計画 スケッチや3D模型（50種以上）
- ・「海・川資源の再生と文化・水の創生シンポジウム報告書」（5トピックス以上）
- ・海辺移動図書館他ポスター・チラシ（4種以上）
- ・インターネット発信一覧（12回以上）



海・まち・デザインは、三方向を海にかこまれた浦安市の環境を最大限にいかしたまちをデザインし、浦安独自の歴史や文化が未来に息づくまちづくりを実現することを目指します。また、誰もが参加できるオープンなデザインネットワークを形成し自ら主体的に行動します。

海・まち・デザイン これまでの主な活動履歴

年	月	イベント活動	人数	実践活動、行政	人数	取材他
2008年	1月			「海・まち・デザイン」発足		ホームページ開設
	3月	境川さくら祭りに「アオギス」(注)ボートを初出展	200			
	4月	アオギスパティを開催	40			朝日新聞より個別取材
	4月-8月			URと三番瀬側住宅にかかわる意見交換会実施(計4回)	40	
	5月	新浦安文化村に出展、街づくり84カフェも同時開催	150	まちづくりアンケート	150	
	7月	風景フォーラムと協働で境川調査	10			
	8月	明海の丘公園祭りにアオギス出展	200			
	9月	ふるさと浦安かつぱ祭り(境川)に出展	50			
	10月	浦安市民祭りに出展、境川-東京湾乗船体験	400	河川交通アンケート	100	新聞取材
	11月			URが三番瀬住宅を超広域区画として販売することを告知		
2009年	2月			「水辺を活かしたまちづくり」デザインの集い	45	新聞取材
	3月			「境川いきいき大作戦」が市の市民活動補助団体に認定		
	5月	夢こいのぼりイベント時に、境川-東京湾乗船体験	270	河川交通アンケート	70	新聞取材
	6月			浦安市三番瀬観察舎基本設計に要望書提出		
	7月	総合公園前海岸クリーンアップ	60			新聞取材
	7月			千葉県「景観まちづくり地域活動団体」に認定		
	8月	境川の夏を楽しむ、滝落とし、ボート、籠ろう流し	230	河川交通アンケート	50	朝日新聞より個別取材
	9月	子育てフォーラムに出展	50			
	9月			お店を訪ねようキャンペーン		
	10月	浦安市民祭りに出展、境川-東京湾乗船体験	160	市民が行きたい水辺アンケート取得	70	
	11月	市民活動フェスティバルに出展	100			
	11月			境川を考える市民フォーラム	(100)	



(注)アオギスは昔、東京湾にいた魚、きれいな海にしかすめず、今は九州の一部にしか棲息しない。
活動のシンボルとして5m超の張子を作成し、ボートに乗せて海・川の自然再生をアピール。



2009年5月16日市川よみうり
5月5日境川-東京湾 乗船体験



2009年9月5日朝日新聞
8月8日境川の自治会との協働イベント

作成： 海・まち・デザイン
 事務局： 千葉県浦安市日の出2-13-2
 電話： 047-355-7166
 メール： umimachidesign@yahoo.co.jp
 ホームページ： <http://www27.atwiki.jp/umimachidesign/>
 (「海まちデザイン」で検索)